



平成30年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	SSRI「課題研究基礎」発表会 SSRA「課題研究A」中間発表会
期 日	平成31年3月1日(金)午後
会 場	本校1年生各教室・多目的室
対 象	1年生全員(普通科・理数科)
目 的	<ul style="list-style-type: none"> “仮説を立てて、実験を行い、レポートにまとめ、発表する“という科学研究のプロセスを体験する。 理数科は、来年度の課題研究に向けて研究の方向性や、今後の展望について発表する。
内 容	<p>○普通科は9月から物理・化学・生物・地学・数学の各分野に分かれ行ってきた課題研究の成果をまとめ、各班による発表を行う。9月から、オリエンテーション1時間および2時間続きの授業を6回実施。今回はその内容をまとめ、各クラス10班程度の発表を行い、相互評価を行った。</p> <p>○理数科サイエンスコースは1学年理数科教室の2会場に分かれ、各班の調べた内容とこれからの研究方針を発表する。その後、6限はポスターセッションを行った。メディカルコースは多目的教室にて、研究の中間発表を行った。いずれのコースも活発な質疑応答が行われた。</p>
	
普通科の発表の様子	理数科の発表の様子
<p><各科目の課題研究の例></p> <ul style="list-style-type: none"> 音の響き方の違い ・ 振動と温度変化 ・ スポーツ飲料の酸の濃度 ヨーグルトの乳酸と発酵 ・ 人の味覚の感じ方 ・ 人間の嗅覚と味覚の関係 液状化現象の研究 ・ 正n角形の対角線によってできる三角形の数 円周率が3.10より大きいことの証明 	

アンケート 評価	<p>発表会の後、17の項目について自己評価を行った。その中で自分に最もよくあてはまると答えたのは、</p> <ol style="list-style-type: none">①「他のメンバーと協力できた」②「自主的・意欲的に取り組んだ」③「教科書にはない実験・研究ができてよかった」 <p>の順だった。</p> <p>また、自分にどのような力がついたと思うか、の問いには上から、</p> <ol style="list-style-type: none">①「チームワークを活用する力」②「プレゼンテーション能力・表現力」③「ものごとに対する好奇心もつ力」 <p>となった。</p> <p>科学に対する興味・関心はこの授業の前と比べてどう変わりましたか？の問いには、82.7%の生徒が「上がった」と答えた。</p>
-------------	---